
IMITATION+GENESIS

紗刃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IMITATION + GENESIS

【Nコード】

N6815Y

【作者名】

紗刃

【あらすじ】

絶大な人気を誇るロックバンド「OYZE」。その「OYZE」のメンバー達は、実は始末人と呼ばれる存在だった。そのことを知った熱狂的なファン、八神桃花は彼らの秘密を守る為に無理やり仲間へと加入させられる。彼女の人生は今日から一転する事となる。

煌びやかで夜もにぎわう街の、ビルの隙間の闇の中で蠢くモノがいた。

クククツ…今日ハドイツヲ喰ラオウカ

人の形をしたそれは、口からはみ出た人が持たざる犬歯を鋭く光らせた。肌の色は腐敗したように変色しており、見ただけでも気持ちが悪いくらい。瞳は血のような赤い色に染まり、口からは涎が大量に溢れ垂れている。もはや、人ではなくなったモノは闇の中を徘徊しようと立ちあがる。

「見つけた。異端の罪人」
クリミナル

闇夜に透きとおった声が響き渡る。異端の罪人と呼ばれたその先に立つのは、リボルバーをそれにつきつける鋭い眼光の者。口元には小さく笑みを浮かべており、トリガーに指を添えている。

貴様ア…喰ツテヤル!

襲いかかろうとする罪人に彼…いや彼女は一瞬の躊躇いもなくトリガーを引いた。銃弾の音が響き渡り、辺りは時間が止まったように静まり返る。

銃弾は罪人の心臓を見事に貫いた。罪人は狂ったように最後の叫びをあげた。

グアアアアアアアア!

「まだ死なないのか…流石は異形」

皮肉を込めた笑みを浮かべて、冷めた瞳で罪人を見下す。
罪人はピタリと動きを止めてその場に伏し、灰化してその場には灰の砂山だけが残った。ふんと鼻を鳴らして、彼女は背を向けてその場から去っていった。

ここはゆったりとした雰囲気が漂う穏やかな街外れ。人々が混雑して歩くわけではなく、数人が通るような場所である。
此処に一軒、シック調の喫茶店 ラフンデー Rhapsodie があつた。店の扉には「CLOSE」の看板が出ているが、彼女は気にせず店の扉を開けば、カランカランと扉の上のベルが鳴る。
店内はぼやけた明るさで、明るい茶色と白で統一した清潔な雰囲気を纏っている。店のカウンターにいた幼い風貌のウェイター姿の青年は、彼女を見てにっこりと微笑んだ。

「お帰り」
「ただいま」

彼女はカウンター席へと腰かければ、青年が飲み物を差し出した。

「疲れたっしょ？」
「あんな小物で私が疲れる筈ないでしょ」
「それもそうだねえ」

二人が話している所に、奥から白髪に青メッシュを入れた青年が出てきた。彼はちらりと彼女を見た後、青年に「珈琲」と注文を出し

た。青年は笑って「はいはい」と答えて珈琲を作り始めた。

「あまり疲れたようには見えないな」

「まあ、小物だったしね。白景はくきやうも仕事だったのに早かったね」

「しろ君はあつしーの30分くらい前に帰ってきたんだよ」

「赤司せきし。いい加減その呼び方はやめろ」

眉を顰めてカウンターに頼杖をつく青年を睨む白景。赤司は睨みに動じず笑顔を浮かべている。そんな二人を見て、彼女は笑って仲裁する。

「まあまあ、赤司のは今に始まった事じゃないでしょ、しろ」

「お前まで俺を「しろ」って呼ぶのか紫雨しるく」

白景の睨みに、紫雨はただ笑みを浮かべているだけだ。そんな二人を今度は赤司が仲裁するように話題を出した。

「こつこつーは社長と出かけて、おーちゃんはまだ仕事から帰ってきてないよ」

「藍威あおいの奴、絶対手え抜いて遊んでやがる」

眉間に皺を寄せて舌打ちする白景に、赤司と彼女は顔を見合わせて苦笑した。

彼らの表業はこの街で絶大な人気を誇るバンド OYZE'（ロイズ）のメンバーであり、そして副業がこの喫茶店の店員である。…そして本業は、「掃除屋」と呼ばれる罪人クリミナルの始末人であった。

A c t . 1 (後書き)

2 -
0 -
1 -
0 /
1 /
2 /
2 /
5

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6815y/>

IMITATION+GENESIS

2011年11月20日19時14分発行